

令和7年度サウジアラビアにおける省エネルギー推進セミナー（民生部門）の実施について

＜開催日時＞ 2025年10月1日（水） 10時から14時15分

＜開催場所＞ タブーク大学 Main Theater Room

＜参加者＞ タブーク大学教職員・学生他 115名、

サウジ政府（SEEC）・駐サウジ日本大使、日本政府・企業関係者 約20名

＜概要＞

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）は、2025年10月1日（水）、Saudi Energy Efficiency Center(SEEC:サウジアラビアエネルギー効率化センター)と経済産業省（日本）の共催でUniversity of Tabuk（タブーク大学）を対象に省エネセミナーを開催しました。

サウジアラビア王国にとって、皇太子殿下が発表したカーボン・サーキュラー・エコノミー（炭素循環型経済）アプローチを通じ2060年までにネットゼロを達成するためのエネルギー効率化は重要な政策課題の一つとなっており王国のこの取り組みを支援するため、これまで日本政府は多くの分野で王国と協力して取り組んできました。

王国における国家エネルギー効率化プログラムを主導する組織として2010年に設立されたSEECは、最もエネルギーを消費する部門である産業、建物、陸上輸送に焦点を当て重要なエネルギー効率化政策を数多く制定するとともに、国民の意識向上を図る様々な活動を展開し、大きな進展を遂げてきました。本セミナーはSEECとの協議結果に基づき、サウジにおいて最も重要と思われる省エネルギーに関する啓発を推進するため、サウジアラビアの大学において学生、教職員に対して省エネルギーに関する理解を深めることを目的として開催しました。

本セミナーにおける講演はMETIの基調講演に始まり、タブーク大学よりネットゼロセンターでの取り組み紹介がありました。続いてサウジ・日本両政府（SEEC、JETRO）から省エネルギーの重要性や推進制度必要性に関する情報提供を行うとともに日本企業2社から最新技術・ソリューションを紹介し、省エネ行動に結びつく情報知識を提供しました。

セミナー開始前に各チーム5～6名で構成する6チーム延べ32名の学生が参加し、それぞれの研究をポスター形式で発表しました。最優秀者に対しては閉会後に学部長表彰を行うなど、学生も参加した一体的なセミナーとなりました。講演後の学生からの質問も、日本における長期的な省エネ政策からサウジは何を参考にすべきかや日本企業が発表した技術はサウジの産業やビルにおいてエネルギー管理をする方法をどのように変革できるか、など現実的な関心の高さをうかがわせるもので盛況裡に終了しました。

本セミナーには、現地リヤドに事務所を置く中東協力センター（JCCME）の協力を得、在サウジ日本企業関係者に聴講を呼びかけ、1社来校・聴講されました。セミナー終了後に大学関係者とのネットワーキングの機会を設け、有意義な情報交換の場としていただきました。

セミナー終了後に学生及び教職員にアンケートを実施し、今後取り上げてもらいたいテーマを挙げてもらったところ、スマートグリッドにおける再生可能エネルギーの統合、持続可能なスマートシティ、などのキーワードの他、エネルギー管理におけるAIの実用化や企業からの積極的な参加などの幅広い要望がありました。

本セミナーの実施については、サウジ国営通信をはじめタブークの地元通信やタブーク大学工学部のWEBサイト、X（旧ツイッター）への投稿等で掲載されています。

＜写真＞



会場の様子



フォトセッション



ポスターセッションの様子



在サウジ日本大使（右から2番目）とタブーク大学長（真ん中）、関係者

以上